

What 人生100年時代に向けてどのような住まいと暮らし方のシーンを創出すべきか

回答欄：自分の住まいを持ち歩く（固定、移動）
自分たちの住まいを組み替える（機能の拡張、縮小、他者との合体、分割など）

コンテナハウス、キャンピングカーの拡張イメージ

Why なぜ上記のシーンを創出しようと思ったか

1）現在のライフシーンを取り巻く状況

回答欄：選択肢はあっても、引っ越しや家の売買にかかる
手間や費用、やり直しが効きづらいといった
ハードルの高さがある
家は自分が落ち着く空間→大きな変化は避けたい

2）人生100年時代に想定される変化

回答欄：人生の変化が増えることによって暮らし方の変化
も増える（家族構成、仕事、趣味など）

3）新しいライフシーンはどのような豊かさを私たちの暮らしや社会にもたらすか

回答欄：住まいを比較的容易にカスタマイズできることで、人生の変化に合わせて新たなコミュニティの形成や
時間的制約からの解放→心のゆとりの獲得などを享受できるのではと考えた

How 上記のシーンの創出のために変化をどのように取り入れ、都市・インフラをどのように変えていくか

1）ライフシーンの変化＝シフトの取り入れ方

回答欄：住まいの安全性、快適性の確保
土地所有の考え方の整理（土地を賃借）

2）着目する都市・インフラ

回答欄：住まいの移動手段（車、列車、船、飛行機など）
電力、給排水、ガスの接続

*ここで提示いただいた都市・インフラを、「どこで」「だれが」「どのように」実現していくか、
そのディテールとプロセスを今後話し合う予定です。

お名前： 佐藤総合計画 関根秀幸